

瀬戸川だより

～瀬戸川で生きる。そして生きつづけたい。～

2022年(第24号・初夏号)



発行元
土佐町役場 企画推進課
☎0887-82-2450
○瀬戸コミュニティセンター
☎0887-72-9114
○南川会館
☎0887-72-9611

瀬戸川溪谷の稲叢山秘話

瀬戸川溪谷の終点にある、稲村ダムの湖のほとりにたたずむ石碑をご存知でしょうか？歴史に興味がある方なら関心を持ってもらえるかも…（笑）
現在、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」をご覧になっている方もいらっしゃるかと思います。源氏が平家を滅ぼして、鎌倉幕府を開いた物語です。
ここ瀬戸川溪谷にも平家の落人（おちゅうど）伝説が残されていて、1185年（寿永4年）屋島の壇ノ浦の合戦に破れた落ち武者58名が稲叢山中腹にある右神、左神の洞窟に立てこもり、源氏の追跡に力尽き壮絶な最後をとげたとされています。それら靈魂を祀った一ノ谷五十八社大山ノ祇神社が5.3km下流の対岸に建立されました。（石碑内の碑文より抜粋）「稲叢山秘話」の石碑は、ダム湖管理棟の脇に設置されています。稲村山散策のおりは伝説や秘話など想像しながら歩くと楽しめますね。



線状降水帯？

これから梅雨入りのジメジメした季節になります。雨の日が多くなると、洗濯物が乾きにくく憂鬱になってきます。また、雨が続くと災害の心配もでてきます。気象庁は「顕著な大雨に関する気象情報」で大雨が予想された場合、「線状降水帯」という呼びかけを行い、その場所の警戒レベルを補足する情報として発表されます。

（線状降水帯とは？積乱雲が列をなしほぼ同じ場所で停滞する現象）
これらの警報は半日前から発表されます。ハザードマップなどを確認し、避難場所や災害キットの用意など、自分を守る行動を取ることが大切です。



合同訪問活動

早いもので、1年があっという間に過ぎ2年目に入りました。
訪問先で地区の方々から暮らしの知恵や家々に伝わる話などお勉強させてもらっています。また、皆さんの体調を含め日々の暮らしの様子を伺わせて頂いています。今後ともよろしくお願いいたします。

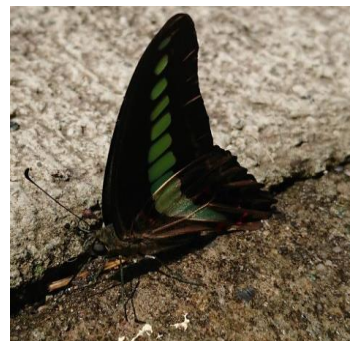


アメガエリの滝で水力発電

終戦直後の昭和20年～30年代後半、水力発電 をアメガエリの滝で行い黒丸地区に夜間のみ供給していたと聞きました。板枠で水路を造り、滝の上流からの高さを利用して発電していたそうです。夜間のみ白熱灯だけ付けられるささやかな電力量ですが、石油ランプの灯りが頼りだった当時の生活を大きく変えました。地区民で取水口の掃除や維持管理を行い、地区に電気が通るまで続いていたようです。

アオスジアゲハ

青いラインの入ったきれいな蝶々が水を飲みにやって来ました。「アオスジアゲハ」アゲハチョウ科アオスジアゲハ属に分類される蝶で、成虫は5月～10月に発生。コンクリートの割れ目に溜まった水を勢いよく飲んでいました。見ていて癒されました。



新しい看板が仲間入り

瀬戸川流域の県道6号線沿線に手作り看板があることをご存知の方も多くいらっしゃると思います。このほど南川「冬の風物詩」でもあります、カジ蒸し剥ぎを畳1枚ほどの大きさに結わえたカジを甑に据える様子を切り取りました。ご覧頂けたらうれしいです。

2022年6月現在の人口など

地区	人口等
南川	人口 25人(入院中の方を含む)
	世帯数 14世帯
下瀬戸	人口 7人(入院中の方を含む)
	世帯数 4世帯
黒丸	人口 24人(入院中の方を含む)
	世帯数 15世帯

※ここでは実際に瀬戸川地区に暮らしている方々の人数等を載せています。

「瀬戸川だより」に対する感想・お問合せはこちらへ！！

【南川】〒781-3742土佐町南川1224-2
南川会館 小林聖花宛て
email: minagawa@utopia.ocn.ne.jp
【瀬戸】〒781-3337土佐町瀬戸658
瀬戸コミュニティセンター 岡林孝通宛て
email: okabayashi@herb.ocn.ne.jp



南川地区集落支援員
小林聖花

3月の始めから半ばにかけて、ジャガイモの植え付けを済ませ、ホツとした頃でしようか？
山野は一気に春めきだし、山菜シーズン到来！ゼンマイにワラビ、そして高知県下のみで食すと言われてるイタドリが出します。
特に今年は雨が少なく、ゼンマイ干しには絶好の日和が続きました。ゼンマイは採っても採っても次々と出てきます。少しでも油断すると、あぎる(とう立ち)ので、大変忙しい日々でした。
塩づけにイタドリは茹でて、きょう重宝する山菜の代表でしようか。
皆様、お疲れ様でした。また、来年もたくさん採れるといたいですね。

集落支援員のつぶやき
春は大忙し